



森ボラ 通信

第270号 2024年11月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆第5回親子森林教室澄川「秋の森の大運動会」

10月は天高く馬肥ゆる秋、13日は親子森林教室、16名の親子と7名の協会の参加で秋の森の大運動会と銘打ち三つのテーマを中心に実施しました。

①桜の大木の高さや周長測定 樹高は底辺と角度から割り出します。

②固い木と柔らかい木を手ノコで切りその感覚の違いを知ってもらいました。

③腐葉土の観察と生き物探し、これと並行して木の葉探しです。樹木の葉のつき方は太陽の光をより多く受けるための知恵で対生、互生、輪生がありそれぞれに探しましたが分かりそうではわからず忌々しい思いでした。葉の部分はどこなのか自問自答しています。

それが終わりフリータイムで薪割り、木登り、コクワぶどう探しなど普段の生活では味わえない体験をしました。教室のミッションを終え成績発表、表彰式には鹿の角も登場しました。思い出にキノコ、炭、栗などをもらい解散です。

ついであるが私は腐葉土の担当で地面を切り取り、断面を見てその構成、経た年月そして人の知らない世界で繰り返される自然の営みについて私なりに触れてみました。森は自然の清掃工場であり巨大なダムでもあります。土が無ければ人は生きていけないことを理解して欲しいものです。葉はなぜ緑なのか聞いてみたら葉緑素を知っている子がいて報われた思いです。

今回から運営の要であった清澤さんが不在となり残念で仕方ありません。 (文・加藤)



樹高を測ろう



手ノコで木を切る



腐葉土の観察と生き物探し



フリータイム：コクワ取り



フリータイム：木登り

◆澄川南小学校6年生卒業記念植樹

10月21日週末の冷え込みも一段落し、活動にはもってこいの陽気。落葉が始まった森には陽が差し込み、森の中が明るく輝いて見えるようになりました。

澄川南小6年生64名が卒業記念植樹に澄川の森に入り、D-1区北端道路からの緩い斜面に2021年からの記念樹が植えられており、今年も高さ2.5mほどのイタヤカエデとナナカマドの苗木を1クラスずつ植えました。協会員は手を出したくなるのをグッと我慢して見守り、各クラスの寄せ書き看板の取り付けのみ助力。初めてクワやスコップを使う生徒も多く、良い体験をしたと先生も喜んでいました。

交代で森の散策をしながら木々の営みやキノコのホダ場を案内しました。終了後3年生から4年間の自然学習支援に対して感謝の言葉がありました。(事務局)



クワを使って初めての穴掘り



手作りの記念看板を前に

◆澄川南小学校5年生学習支援

11月5日澄川南小5年生60名が澄川の森を訪れ、毎年恒例の秋の清掃活動を行いました。当初10月8日に実施する予定でしたが、雨の影響でこの日に延期になりました。例年では市道から森の中に降りて行くと、子供たちは目の前の散乱したごみに驚きながらもすぐに回収作業を始めるのですが、この日は秋の長雨でべったりと濡れた枯れ葉と舞い落ちる落ち葉がごみを覆い隠し、森の中でゴミを拾うには最悪のコンディションでした。

協会員が率先してビニール袋にゴミを入れ始め、先生に促されてようやく子供たちがゴミを探し始めますが、急斜面に足を取られる上に珍しい森の中や友達が気になりゴミ探しは二の次になってしまいます。終了後の「やばいもの多かったー」との漠然とした感想が、散漫な活動を物語っているようでした。落ち葉の少ない時期に活動できなかったことが悔やまれます。

今年は市指定のゴミ袋に入れられた家庭ごみや、弁当の空き容器、空き缶などおなじみのゴミの他に中身の入ったペットボトルが多数投げ込まれていました。それらは10月の回収時にも見つかり内容物が不明なため子供達には触らないよう事前に注意していたもの。終了後改めて協会員が集めて中身を捨てています。腐敗した液体は吐き気を催す悪臭で処理に手間取りました。(文・老田)



濡れた斜面で懸命にゴミ拾い



異臭を放つゴミに苦戦

◆最近の澄川活動

10月29日に倒壊注意発令中の物掛けが修理完了しました。お疲れ様でした。



頑丈な物掛けが完成しました

◆鳥の巣箱が蜂の巣に!!

情報・占拠された巣箱の中はこんな状況に
春に子供たちが作った広場前の巣箱がハチに占領されてこんな状態になっていました



◆月寒公園に薪提供

札幌市民の憩いの場である月寒公園の冬季間事務所の暖房用として今年も薪を提供しました。



■ 澄川の自然 63

キタコブシ(モクレン科)

10月8日澄川活動日、キタコブシの実の写真です。

山を歩いていて実がパラパラとしか付いていない木は今までも見て来ましたが、こんなに鈴なりに付いているなんてびっくりです。

避難小屋から南に少し歩いた所、E-4地区です。樹木の花の咲き方や実の成り方に裏・表があって一年毎に変わるというのは聞いたことがあります。この木は今年表だったのでしょうか。ミズナラもドングリが一杯でした。

昔は田植えの指標木として、別名タウチザクラと言われたり、花が上を向くと天気だとか、下を向くと雨が多いとか、天気予報がなかったので頼りにされたのでしょうか。

名前のキタは本州のものより葉や花が大形なので区別されたようです。又、コブシは人の握り拳に似ていることから名が付けました。実は、熟すと中から赤い種が糸を引いて出てきます。

(写真/文・西野(澄))



■今月の幹事会

出席者(11/6):大窪・荻田・矢野・樫棒・加藤・松藤・西野(澄)・平・早坂・老田・丸尾

1. 2024年12月、2025年1月活動スケジュール(12月幹事会12/11(水)):活動時間は10:00～13:00。
2. 2024年度10月会計報告:内訳の一部を入れ替え。了承
3. 2024年度多面対策交付金事業10月報告:11月からの時間単価を1,100円。了承
4. 2024年度第2回理事会報告:各議案承認。
5. 冬季セミナー:12月は「ナラ枯れ病」、他はテーマを募集中。
6. 現場報告
 - ・整理伐状況:了承
7. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告:10月の訪問数2,658件。了承
 - ・烏柵舞植樹予定:2025年度は400本の補植を予定。セブンイレブン助成申請提出済み。了承
 - ・札幌市競争入札参加資格申請状況:了承

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
10月16日(水)	支笏湖(烏柵舞)	11	補植(アカジマツ740本)1, 5, 16, 17, 18, 19区
10月17日(木)		11	標準列成長調査
10月18日(金)	ラルズ生活研究C, 2F会議室	8	臨時理事会、理事会議案まとめ
10月21日(月)	澄川	10	澄川南小6年卒業記念植樹、運材、ネムブレート作成
10月24日(水)	澄川	9	卒業記念樹枯損木1本交換、苗畑作業
	野幌国有林	7	植樹(アカジ約130本、トマツ7本、前回スズメバチ被害列のC-5, 6, 7, 10、B-5列)、列毎の植樹本数調べ
10月27日(日)	澄川	9	運材、マキ作り
10月29日(火)	澄川	19	澄川南小4年観察会支援、F-1, 2整理伐 F-3整理伐材選木、E-1, 2じょうてつの森樹高調査
11月1日(金)	アークス本社ビル	8	第二回理事会
11月2日(土)	澄川	12	F-1, 2整理伐、機器整備、
11月5日(火)	澄川	11	澄川南小5年清掃活動支援、F-1, 2整理伐、マキ作り
11月6日(水)	ラルズ生活研究C, 2F会議室	11	幹事会
11月8日(金)	澄川	11	マキ作り、駐車場地区整理伐
11月12日(火)	厚真町、平取町、むかわ町	18	研修旅行(厚真町:西樺馬搬、震災被災地視察)
11月13日(水)		15	忘年会(びらとり温泉「ゆから」)、穂別博物館
11月15日(金)	澄川	13	F-2, 3整理伐、F-4選木、マキ作り、 第1, 2小屋棚卸、チップー貸出(斎藤リンゴ園)